

内田篤人さんがサントリー緑茶「伊右衛門」TV-CMに初出演！

本木雅弘さん、博多大吉さん、芦田愛菜さんと共に演

内田さんが伊右衛門を爽やかに飲み干す姿に注目！

新TV-CM「伊右衛門の会 夏は緑茶より麦茶？」篇を

7月4日（月）より全国でオンエア開始

サントリー食品インターナショナル（株）は、本木雅弘さん、博多大吉さん、芦田愛菜さん、新キャストの内田篤人さんが出演するサントリー緑茶「伊右衛門」の新TV-CM「伊右衛門の会 夏は緑茶より麦茶？」篇を7月4日（月）から全国でオンエアします。

「伊右衛門の会 夏は緑茶より麦茶？」篇では、本木雅弘さん演じる伊右衛門はんと、博多大吉さん、内田篤人さん、芦田愛菜さんの4人が、夏らしい青空の下に集結。「夏は緑茶より麦茶じゃないですか？」と問いかける内田さんが伊右衛門を飲むと、スッキリとした味わいに思わずごくごくと飲み干してしまう様子が描かれ、淹れたての緑茶のような緑の伊右衛門が、夏も変わらずにおいしいことを訴求しています。内田さんが伊右衛門を豪快かつ爽やかに飲み干す姿にご注目ください。

新TV-CM内容

■ 「伊右衛門の会 夏は緑茶より麦茶？」篇（15秒／30秒）

伊右衛門TV-CM初出演となる内田さんが、「夏は緑茶より麦茶じゃないですか？」と質問します。博多大吉さんも、「僕も思った。」と同感。伊右衛門はん、博多大吉さん、内田さん、芦田さん全員で伊右衛門を飲んでみると、内田さんは、そのおいしさに豪快に飲み干します。飲み終わった内田さんは「夏の伊右衛門、アリ！」と驚き、大吉さん、芦田さん、伊右衛門はんも「アリ！」と納得の笑顔を浮かべます。

▼放映開始：2022年7月4日（月）

▼放映地域：全国

▼動画URL：「伊右衛門の会 夏は緑茶より麦茶？」篇

〈15秒〉<https://www.youtube.com/watch?v=4J72Hry6nsg>

〈30秒〉<https://www.youtube.com/watch?v=xhz7VKn3CU0>

▼出演者：本木雅弘さん、博多大吉さん、内田篤人さん、芦田愛菜さん

今回初出演となる内田さん。慣れない長時間の正座に少し苦しむ場面もありましたが、撮影の合間には出演者同士で談笑する様子も見られました。内田さんが伊右衛門を飲み干すシーンでは、何回かテイクを重ねたにも関わらず、常に爽やかな飲みっぷりを披露。本木さんからは「すごい飲んだね！」と感嘆の声が上がるなど、終始和やかな雰囲気の中進行し、夏らしい爽やかな撮影となりました。

豪華共演！本木さん・大吉さん・内田さん・芦田さんスペシャル対談

〈トピックス〉

- ・ CM撮影の感想と新キャスト内田さんへの印象について
- ・ ご自身にとっての「夏」と言えば？
- ・ これだけは譲れないマイルールやこれだけは負けないというご自身のポイント
- ・ 最近スッキリした経験
- ・ 2児の娘のパパである内田さんから芦田さんに聞きたいこと

サントリー緑茶「伊右衛門」商品情報

サントリー緑茶「伊右衛門」は、創業200年以上の歴史をもつ、京都の老舗茶舗「福寿園」の茶匠が厳選した茶葉を使用した本格緑茶です。2020年の大刷新から3年目を迎える今年は、"もっとおいしい淹れたて緑へ"をキーメッセージに、味や香り、淹れたての緑茶のような緑の水色（すいしょく）をさらに磨きました。またパッケージデザインでは、鮮やかな緑色のラベルに金の文字をあしらった上質なデザインに仕上げました。また、ご好評いただいているラベル裏面デザインに新たなイラスト（全8種）を採用、さらに、キャップにもイラストを配した5種のアソートキャップを新たに導入しました。



▼「伊右衛門」ブランドサイト：<http://iyemon.jp/>

タレントプロフィール

本木 雅弘

1965年生まれ、埼玉県出身。81年TVドラマ「2年B組仙八先生」でデビュー。89年映画「226」で日本アカデミー賞新人俳優賞、映画「シコふんじゃった。」(92)で同賞最優秀主演男優賞など多数受賞。自ら発案し主演を務めた「おくりびと」(08)は日本映画史上初となる、米国アカデミー賞外国語映画賞部門を受賞するなど、国内外で数々の映画賞を受賞。TVドラマではNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」(09)で主演・秋山真之役、「運命の人」(12/TBS)では山崎豊子の推薦により主人公弓成亮太を演じた。近年もNHK大河ドラマ「麒麟がくる」やNHK「流行感冒」での熱演が大きな話題となった。CM界でも独自の存在感を放ち、名実ともに活躍する実力派。[主な出演作] ラストソング(94)、トキワ荘の青春(96)、双生児～GEMINI(99)、巖流島GANRYUJIMA(03)、日本のいちばん長い日(15)、天空の蜂(15)、永い言い訳(16)。

博多 大吉

1971年3月10日生まれ、福岡県出身。1990年5月に福岡吉本の1期生としてデビュー。博多華丸と博多華丸・大吉を結成。2008年アメトーキ大賞（第2回）流行語大賞、2015年、IPPONグランプリで優勝。2014年には「THE MANZAI 2014」で優勝。2018年2月には朝の情報番組「あさイチ」（NHK総合）の2代目キャスターに就任した。2018年度福岡県文化賞を受賞。2020年、「2020年上半期TV番組出演ランキング」（エム・データ発表）で出演回数330回で総合トップを獲得。同年末発表の「2020テレビ番組出演本数ランキング」（ニホンモニター）でも出演番組数548番組で初の総合1位を獲得。

内田 篤人

2006年に清水東高校から鹿島アントラーズに入団。高卒ルーキーとして開幕戦からレギュラーの座を獲得し活躍。2007年～2009年のJリーグ3連覇に大きく貢献した。2008年北京オリンピック出場。日本代表にも定着。2010年南アフリカW杯メンバーに選出され、W杯後の7月にドイツ・ブンデスリーガ強豪シャルケ04へ移籍。移籍1年目からレギュラーの座を確保し、高い技術と戦術眼、優れた判断力を兼ね備え、絶妙なタイミングでのオーバーラップから精度の高いクロスで決定機を演出し続け活躍。日本人初のUEFAチャンピオンズリーグベスト4、ドイツ杯優勝と新たな歴史を刻んだ。2014年W杯ブラジル大会では全3試合にフル出場を果たすなど、シャルケ04、日本代表にとって欠かせない選手として活躍した。2017年8月、シャルケ04から1.FCウニオン・ベルリンへ完全移籍。2018年シーズンからは古巣の鹿島アントラーズへ復帰し、同年の AFCチャンピオンズリーグでは鹿島の初優勝に貢献。2020年8月23日ホームG大阪戦を最後に引退。2020年9月から日本サッカー協会が新設した「ロールモデルコーチ」に就任し後進育成に力を注いでいる。

芦田 愛菜

2004年6月23日生まれ、兵庫県出身。5歳で出演したドラマ「Mother」（日本テレビ／2010年）で脚光を浴び、「大河ドラマ 江～姫たちの戦国～」（NHK／2011年）に出演、「マルモのおきて」（フジテレビ／2011年）では連続ドラマ初主演。主題歌を歌い、第53回日本レコード大賞特別賞を受賞。映画「ゴースト もういちど抱きしめたい」で第34回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞、映画「うさぎドロップ」と映画「阪急電車 片道15分の奇跡」で第54回ブルーリボン賞 新人賞を史上最年少で受賞、ほか第28回浅草芸能大賞新人賞など多数の賞を受賞。映画「パシフィック・リム」（2013年）ではハリウッドデビューも果たす。また、「連続テレビ小説 まんぷく」（NHK／2018）では史上最年少で語りをつとめる。バラエティー番組「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」（EX）ではMCとしてレギュラー出演しており、映画「星の子」（2020年）で主演、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」（2020年）で明智光秀の娘たま役で出演するなど数々の映画、ドラマ、CMなどで活躍。現在、主演映画「メタモルフォーゼの縁側」が公開中。